

かがんが



議会だより No.138

平成29年度決算	P 2
9月定例会	P 4
議案質疑	P 5
委員会質疑	P 6
研修報告	P 7

議決結果	P 8
議会のうごき	P 9
一般質問	P 10～
かんだスクープ!・あとがき	P 20

財政健全化に一步前進!

平成 29 年度 決算
一般会計 特別会計認定

平成 29 年度決算、主にこのように使われました

民生費

45 億 1,521 万円

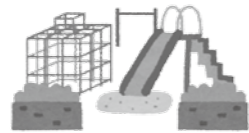
子ども・お年寄り・障がい者などに対する福祉事業や医療費などに使われています。



土木費

10 億 8,393 万円

道路・河川、公園、公営住宅の整備や維持補修などに使われています。



教育費

12 億 8,771 万円

小・中学校、公民館、図書館、体育館などの整備・運営やスポーツ・文化行事などの生涯学習に使われています。



総務費

14 億 3,829 万円

職員の人件費、庁舎などの維持管理、税金の徴収、戸籍や住民票の発行、選挙の実施、空港や高速道路対策などに使われています。



商工費

1 億 3,804 万円

商店街の活性化や企業誘致など、商業や工業の振興に使われています。



衛生費

13 億 5,961 万円

健康診断など町民の健康対策や、ごみやし尿の処理に使われています。



消防費

4 億 4,089 万円

火災の消火活動、病気・けがらの救急搬送業務などに使われています。



農林水産費

2 億 8,272 万円

農道・林道・ため池などの整備改修や農林水産業の振興に使われています。



議会費

1 億 4,813 万円

町議会議員の報酬や議会運営に使われています。



公債費

13 億 6,077 万円

町が借りているお金の返済に使われています。



町の累積残額 (町債・基金)

◆町債 (借金) の累積残額
115 億 5,992 万円
(1 人当たり 30.9 万円)

◆基金 (貯金) の累積残額
49 億 9,523 万円
(1 人当たり 13.4 万円)



町民一人あたり
約 35 万円
特別会計を含めると
約 55 万円使いました
平成 30.3 月末現在
人口 37,344 人

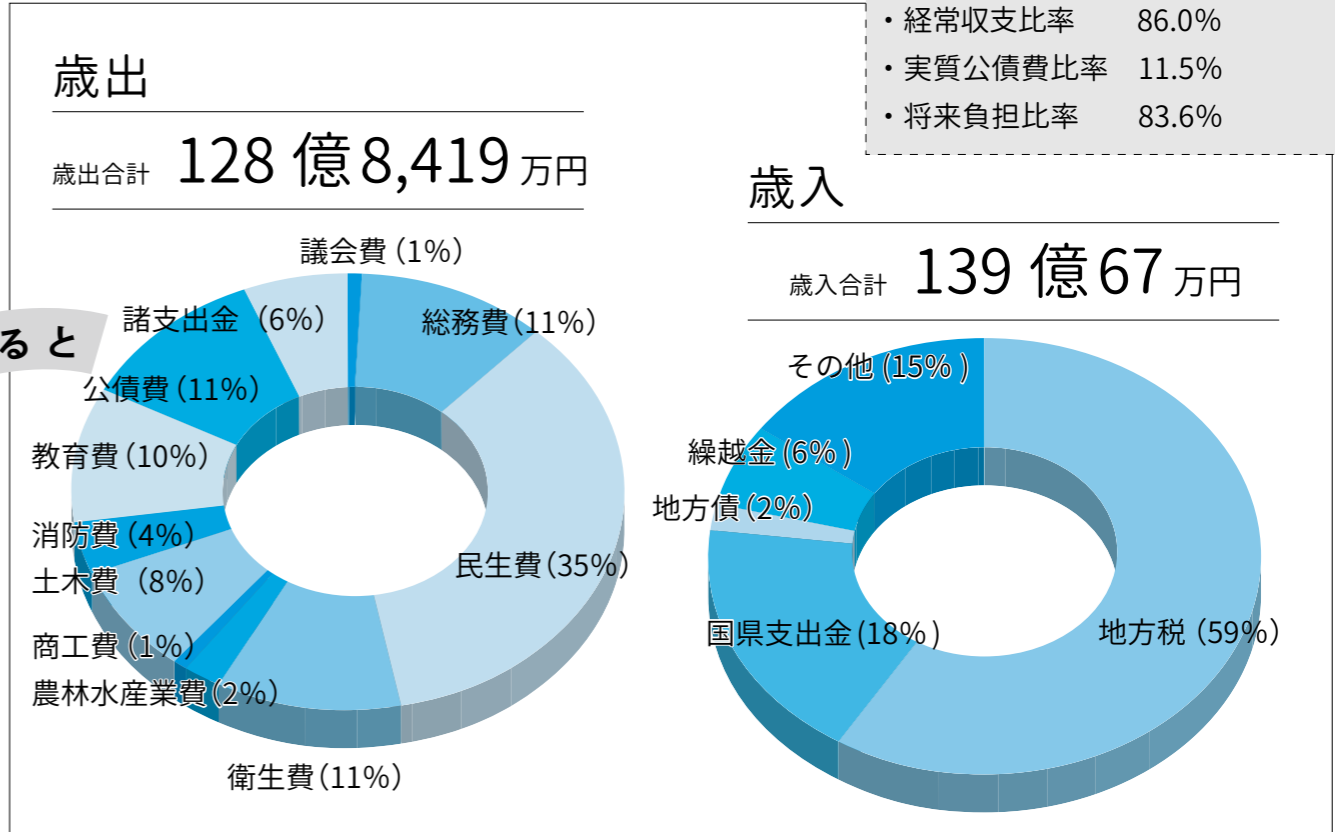
7 人当たりになると

平成 29 年度 町田町一般会計決算について
歳入については、昨年度に比べ 1.7% 減の 139 億 67 万 9 千 9 百 89 円、歳出については、昨年度に比べ 2.9% 減の 128 億 8 千 4 百 19 万 2 千 6 百 70 円となり、当該年度の差引額は 10 億 1 千 6 百 48 万 7 千 3 百 19 円となります。また、翌年度に繰り越すべき財源は 2 千 2 百 23 万 4 千 404 円となっているので、実質収支については 9 億 9 千 4 百 25 万 2 千 9 百 15 円の黒字となります。本年度の実質収支から昨年度の実質収支を差し引いた単年度収支は 1 億 3 千 7 百 82 万 8 千 6 百 33 円で、前年度より増加した財政調整基金 4 億 2 千 9 百 09 万 9 千 2 百 15 円を加えた実質単年度収支は 5 億 6 千 6 百 92 万 7 千 8 百 48 円の黒字となりました。

平成 29 年度は、法人町民税等の増加や使用料及び手数料の見直しなどにより、歳入が増加した一方で、行財政改革により歳出全体を抑制したことによって、基金整理などを行わないで黒字決算となりました。

歳入(①)	139 億 0,067 万円
歳出(②)	128 億 8,419 万円
差引 (①-②)	10 億 1,648 万円

・財政力指数	1.158
・経常収支比率	86.0%
・実質公債費比率	11.5%
・将来負担比率	83.6%



9月
定例会

9月3日～9月26日
平成30年度苅田町一般会計
補正予算等18件、意見書2
件を慎重審議

補正予算

平成30年度一般会計
補正予算(第4号)は、
歳入歳出予算の総額
に歳入歳出それぞれ
6億1024万9千
円を追加し、補正
後の総額は134億
9046万9千円。

*平成30年度補正予算(第4号)

一般会計	
歳出(増額補正の主なもの)	
・法人町民税等還付に係る過誤納還付金	2,500万円
・子ども・子育て支援事業計画に係る調査費	216万円
・リサイクルセンター施設の設備修繕費	170万円
・し尿処理施設の設備修繕費	340万円
・道路維持補修工事費	300万円
・河川改良工事費	840万円
・尾倉与原線・与原白石線道路改築工事費外	5,000万円
・白川小学校体育館の防水補修工事費	1,142万7千円
・松山城跡復旧・測量事業費	933万8千円

人事案件

●教育委員会教育長の
任命
もりたこうじ
・森田耕治氏
を任命することに同
意。



意見書

●児童虐待防止対策の
さらなる強化を求める
意見書
●水道施設の戦略的な
老朽化対策を求める意
見書

臨時会

平成30年第3回苅田町議会臨時会が
開催されました。

平成30年8月8日(水曜日) 午前10時より 苅田町議会議場
上程議案5件について審議

- 議案第45号 工事請負契約の締結について
(苅田町立小中学校空調設備設計・設置工事)
- 議案第46号 製造請負契約の締結について(救助工作車)
- 議案第47号 財産の取得について(コミュニティバス)
- 議案第48号 専決処分について
「平成30年度苅田町一般会計
補正予算(第2号)」
- 議案第49号 専決処分について
「平成30年度苅田町一般会計
補正予算(第3号)」

いずれも重要かつ
緊急必要な議案に
ついて、慎重審議
を行った結果、全
会一致で可決・承
認するものと決定
いたしました。



新しいコミュニティバス(写真はイメージ)

議案質疑

議案質疑

一般会計補正予算

▼商工費

Q 集落支援員に対す
る補助が町にとって
必要なものなのか、
必要な理由は。

A 等覚寺地区の地域
発信、定住や住民の
生活支援、地域ブラ
ンドの開発・販売な
ど、これまでの実績
から地域に必要なも
のだと考える。

Q この制度は3年が
任期、総務省の支援
制度などを活用して
自立させるのが筋で
はないか。

A 県に相談し、集落
支援制度を活用する
ことにした。

Q 特別交付税で措置
されているというが、

内容が分からない、
納得のいく説明を。

A 支出は一般財源、
収入として決算で
9300万円を受け
入れているが、その
一部である。いくら
かというの難しい、
3年のスキームで行
なっていく、制度設
計も変わりフラット
な状況で考える必要
がある。今後も踏ま
え要綱等の整備を
行っている。

Q それぞれの補正に
対する根拠が示され
ていない、自立をさ
せるのが最終的な目
的では。

A 根拠については、
これまでの1カ月の
報酬を基に勤務日数
で割り戻して計算し
ている。

Q 町民目線で考える
と理解できない、こ
れからの2年間のあ

り方を示してほしい。

A 等覚寺地区の柵田
の維持管理・景観保
全及び味噌の製造販
売など、一般町民も
交えた組織づくりを
行いたい。

下水道事業会計決算

Q 一般会計からの繰
り入れ分は消費税の
対象となるが、納税
額はいくらか。

A 公共下水道について
は721万8174
円、農業集落排水に
ついては291万
2992円。

Q 平成29年度純利益
9100万円強、実
質収支を見るとマイ
ナス9400万円程
度となっている、平
成47年完了予定だが、
見通しは。

A 5年間延長したが、
今の状況では平成47

年完成は厳しい、人
口減少等踏まえ平成
32年に認可変更を行
なった後、整備状況
を見極める必要があ
る。

水道事業会計決算

Q 損益計算書は税抜
き、決算報告書は税
込みとなっている、
営業外費用9514万
6650円で、消
費税がかからない
1億3513万
4350円との差が
分からない。4千万
円弱あると思うが。

A 差額は3998万
7700円で、消費
税の納税額となっ
ている。

農業公社の経営状
況報告

Q 直売所の問題は地
元が切に願っていた
努力できなかったの
か。

A 場所の選定で鋤崎
地区の圃場整備地内
を予定していたが、
事業自体ができな
かった。

Q 直売所の用地の確
保ができなかった。
どのように難しかっ
たのか。

A 土地の提供が整わ
なかった。

Q 直売所の問題も含
め当初計画と違いが
ある。

A 当初計画から大き
くかけ離れた。時代
に合ったものにした
い。



総務常任委員会

▼一般会計補正予算(第4号)

- Q 防犯カメラはリースなのか。
- A 5年のリースを予定している。
- Q 庁舎内だけの設置か。
- A 1階に3箇所と2階の外部などに計8台を設置予定。
- Q 地域おこし協力隊員、県の支援制度を活用して新たに行う理由は。
- A 制度を活用して地域に定住・定着して頂き、棚田の景観管理や特産品開発など地域に活気を呼び起こしたい。
- Q 今回全額が特別交付税措置と聞いたが。
- A 交付税措置が行われる。
- Q 財政調整基金の目標は。
- A 40億円を目標にと認識している。



防犯カメラ(写真はイメージ)

産業建設常任委員会

▼一般会計補正予算(第4号)

- Q 橋梁設計委託料は何件分か。
- A 1件分。
- Q 尾倉与原線・与原白石線道路改築工事の内容は。
- A 飛球防護柵の設置であり、全体を三工区に分け、今回はその一工区分である。
- Q 予測交通量は。
- A 平成42年度で1日13000台を予測している。
- Q 総事業費でいくらかかるか。
- A 設計ベースで1億5千万円。



飛球防護柵設置予定道路

厚生文教常任委員会

▼一般会計補正予算(第4号)

- Q 子ども・子育て支援事業計画策定調査業務の内容は。
- A 平成31年度に第2次計画を策定予定であり、そのための事前アンケートである。
- Q 松山城跡復旧業務委託と松山城跡測量業務委託の内容は。
- A 復旧業務は、7月豪雨で壊れた箇所を復旧であり、測量業務は、町指定より上位の史跡への認定を視野に入れた、山全体の測量である。
- Q 小学校施設改修工事の内容は。
- A 白川小学校体育館が雨漏りをしているため、屋根全体をやりかえる。

▼介護保険特別会計補正予算(第2号)

- Q 低所得者保険料軽減繰入金の内容は。
- A 現在9段階ある介護保険料のうち、第1段階の介護保険料軽減措置の国庫負担分である。

▼町主催による議員研修

荻田町議会会会議室(6月5日)



講師は、元荻田町職員、現在荻田町町民会議事務局長をしており、ます小野剛史さんに、荻田町の歴史について講演を頂きました。

主な内容としては、近代に入ってから現在に至るまでの町の変遷について、港を中心に企業進出などが行われた観点からお話を頂きました。

▼大刀洗町議会視察研修

三井郡大刀洗町議会(8月6日)



今年、全国町村議長会において特別表彰を受けた三井郡大刀洗町で、議会改革及び議会広報について、研修を行いました。

大刀洗町は、議会モニター制度の導入や町民との意見交換会を実施し、議会報告会の回答を紹介するなど、住民に向き合った議会運営に勤めています。

▼京都郡町議会議員研修

西日本工業大学(8月10日)



京都郡町議会議長会主催による議員研修会が開催されました。

講師は、全国町村議長会 企画調査部部长の山中学氏で、「地方自治の課題」について、講義を受けました。

主な内容として、地方財政・地方税制・地方創生の3本柱で講義が行われました。

第3回臨時会

【臨時会の詳しい内容】

議案質疑

- 工事請負契約について
- Q 選定委員会の構成メンバー・開催実績は。
- A 副町長を委員長に庁内職員で構成、開催は4回。
- Q 各教室の室内温度は調査したのか。
- A 調査は行っていない。
- Q エアコンが設置できるまでの対応は。
- A 特別教室を利用するなど環境に配慮する。
- 製造請負契約の締結について
- Q どの車のメーカーか。
- A 車両の仕様はあるが現段階ではわからない。
- Q 車種は納車されるまでわからないのか。
- A 現時点では把握できない。
- 専決処分について
- Q 点検はどの様な基準で行われるのか。

委員長報告

- 製造請負契約の締結について
- Q 救助工作車はどのような時に使うのか。
- A 横転事故や交通事故などの時に出勤する。
- 産業建設常任委員会
- 財産の取得について
- Q 低床バスの導入目的は。
- A 利便性の向上及び利用者からの要望である。
- 厚生文教常任委員会
- 工事請負契約の締結について
- Q 少しでも早くつけられないか。
- A 業者との協議の中で話している。
- 専決処分について
- Q 新津中学校も不適合で挙げたと思うが。
- A 再調査を行ったところ緊急対策は必要ないことがわかった。

9月					8月					7月							
26日	25日	19～20日	18日	11～13日	5日	3日	30日	29日	24日	10日	8日	6日	3日	12日	9日	4日	
議会閉会	議会広報特別委員会行政視察（東福岡高校）	決算特別委員会	議会広報特別委員会（138号の企画・編集）	付託委員会	一般質問	議案質疑	議会開会	議会運営委員会（9月定例会について）	議会広報特別委員会（138号の企画・編集）	全員協議会（9月定例会提出予定議案について）	ごみ問題対策特別委員会 (1) 町の今後のごみ施策について (2) エコプラントについて (3) ごみの収集業者について	臨時会 京都郡町議会議員研修会 (1) 地方行政の課題	議員視察研修（大刀洗町） (1) 議会改革の取り組みについて (2) 議会広報紙の取り組みについて	議会運営委員会（第3回臨時会について）	議会広報特別委員会（137号の企画・編集）	議会広報特別委員会（137号の企画・編集）	議会広報特別委員会行政視察（苅田工業高校）

議会のうごき

12月定例会の予定

12月4日(火) から
12月20日(木) まで

* 一般質問は

- 12月11日(火)
- 12月12日(水)
- 12月13日(木)
- 12月14日(金)

* 開催時間は

午前10時～午後5時

* 受付 庁舎6階にて

* 問合せ先 議会事務局

☎ 093・434・1981

9月議会の傍聴者

35名

議会改革

議会中継実施しています!

視聴方法 苅田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、苅田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。

※注意事項

○本システムの映像配信をご覧になるには、Microsoft社のWindows Media Player（無償）が必要です。

○当サイトは、Internet Explorer（ブラウザ）で視聴してください。

○Windows 10をご利用の場合、『Microsoft Edge』ではご視聴いただけません。『Internet Explorer』をご利用ください。



ココをクリック! 新しい画面が開きます

9月末アクセス件数
ライブ中継 583件
録画中継 755件(平成30年4月からの累計)

平成30年第3回 苅田町議会臨時会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	村上智宣	高橋達之	屏正隆	岩谷潔	沖永義樹	白石学	友田敬而	榎谷忠明	常廣直行	三原茂	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	小山信美	坂本議長	結果	
議案第45号	工事請負契約の締結について（苅田町立小中学校空調設備設計・設置工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第46号	製造請負契約の締結について（救助工作車）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第47号	財産の取得について（コミュニティバス）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第48号	専決処分について（平成30年度苅田町一般会計補正予算（第2号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認
議案第49号	専決処分について（平成30年度苅田町一般会計補正予算（第3号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	承認

平成30年第4回 苅田町議会定例会議決結果一覧表

議案番号	議案題名	村上智宣	高橋達之	屏正隆	岩谷潔	沖永義樹	白石学	友田敬而	榎谷忠明	常廣直行	三原茂	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	小山信美	坂本議長	結果
議案第50号	平成30年度苅田町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第51号	平成30年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第52号	平成30年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	-	可決
議案第53号	平成30年度苅田町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第54号	平成30年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第55号	平成30年度苅田町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第56号	平成30年度苅田町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
議案第57号	平成29年度決算の認定について（苅田町一般会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第58号	平成29年度決算の認定について（苅田町国民健康保険特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	-	認定
議案第59号	平成29年度決算の認定について（苅田町後期高齢者医療特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	-	認定
議案第60号	平成29年度決算の認定について（苅田町介護保険特別会計）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	-	認定
議案第61号	平成29年度決算の認定について（苅田町土地区画整理事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第62号	平成29年度決算の認定について（苅田町住宅新築資金等特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第63号	平成29年度決算の認定について（苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第64号	平成29年度決算の認定について（京都郡公平委員会特別会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第65号	平成29年度決算の認定について（苅田町下水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第66号	平成29年度決算の認定について（苅田町水道事業会計）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	認定
議案第67号	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	同意
意見書第10号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第11号	水道施設の戦略的な老朽化対策を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-	可決

○-賛成、×-反対 欠-欠席

※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

Q 地方創生の取り組みは地域に何を残したか

A まちのPR、中小企業の支援などに努めた



常 廣 直 行 (飛翔の会)

Q 地方創生交付金事業が始まって4年。何を残したか。

A お試し移住や町のPRはすぐに効果はでない。企業支援は実態調査をした。

Q 人口も仕事も増えている。これは何が効いたと思うか。

A 良好なインフラに企業立地が進み雇用や人口が増えた。

Q 地方創生がなくても好転する要素を持っていたのでは。

A 国がいう地方創生

と、現状は違うと認識している。

提言 ふるさと納税やプレミアム商品券も地方創生事業として続く。すぐわれないものは切り捨てる取組が必要だ。

地方創生における土地利用

Q 土地計画としてコンパクトローラーできているのか。

A 町をコンパクトにまとめ、コミュニティ

バスのネットワークを構築するなど一定の機能を果たしている。

Q 小さな工場や店舗、住宅等を建てたいが土地利用に制限がある。地域の変化に応じて見直しが必要では。

A アンケート調査や住民ワークショップ等で議論したい。

Q 優良な住宅地・店舗・公共施設・工場・倉庫等を提供できる体制が必要。用途地

域見直しが必要だ。A 必要な状況なら、やっていかなければならない。

プロジェクトの使命と運用

Q 課題はどのように決定をし、今、持っている課題は。

A 各課が持っている課題を効果的に効率的に進めていく。

Q 臨時的に組織し、課題を集中して期間を決めて行うというのが理想的だ。

A いつも意見交換を行い、チェックしながら進めたい。

日常遅れている事業

Q 小中学校のエアコン設置はなぜ時間がかかるのか。

A できるだけ前倒しでと考えている。

Q 町単費なら地元の業者を総動員すれば2、3カ月でつく。地元経済効果もある。

A 公共事業として許されない。手順を踏んで進める。

Q 与路線は通行量が多いのに照明がない。3月議会で予算もついていたが動きがない。

A 入札し業者も決まっている。ポールを工場で一からつくるので遅れている。

Q 早く明るくして欲しいだけだが。

A 将来、交差点改良でやりかえが必要にならないため。



町長公約実現へ向け

Q 町長公約。小波瀬西工大前駅改修をどう進めるのか。

A 財政の健全化を図って生み出した財源で小波瀬地区の駅周辺整備事業を行う。

提言 プロジェクトチームが率先してやる課題ではないか。

Q 中心市街地の活性化は

A ピュアタウン荻田を設立した



友 田 敬 而 (未 来)

Q 自治体における商店街の役割とは。

A 行政と同じで町民の皆さんが、利用しやすい環境にあることだ。

Q 中心市街地のにぎわいを取り戻すことによるメリットは。

A 町のにぎわいやいりんな面で波及する効果を発信できることだ。

Q まちのにぎわいづくりは、どこが行っていくか。

A 全ての課が関係し

ている。

Q 井場川の跡地、道の駅構想はどのように取り組んでいくのか。

A まちのにぎわいづくりの一つの策であるが、もっと優先するところが先にあると思う。

Q えきらく大市の集客は。

A 1回当たりの平均として400人。Q みんなが一生懸命やっている活動に後押しのお気持ちはない

か。

A 後押しはもちろんしなければならぬ、必要な経費については検討する。

Q 財政難という一言で事業を門前払いにすることなく検討してほしい。

A 門前払いにすることはない、きちんと話を聞く機会を設ける。

ピュアタウン荻田

Q ピュアタウン荻田の方向性は定めているのか。

A 今現在、具体的な動きはない。

Q ピュアタウン荻田を中核団体にし、資金を国県に申請してまちのにぎわいを創出していくというのが、あるべき方向性だと思つた。

A ピュアタウン荻田に新しい使命があるとするれば、その使命はなにかということろを議論しないと、補助金をもらうことが先にあってはならないと思う。

Q ピュアタウン荻田は、どのような形にしていくつもりなのか。

A 今の経営の方針は、



えきらく大市

毎年株主総会を開催し、毎年度の方針を立てている。短期的に言えば、今の形態を続けていく方針を持っている。

めには、中心市街地活性化の基本計画が必要だ。A 行き当たりばったりでお金を使うことはできない。どれくらいか費用がかかるのか、きちんと見極めながら、計画を立てていきたい。

Q 定住化への施策は

A 住環境整備や子育て支援で魅力を高める



武内幸次郎 (未 来)

Q 新たな財源確保に企業誘致と定住化を図ると言ってきた。A 企業誘致や定住化による財源確保と歳出を制する。

Q 他の自治体も同じ事を言っている。インフラ整備の地の利が活かされていない。A 先人の努力が魅力になっている。実を結びたい。

Q 県が主体的に用地確保や企業誘致を行ってきた。町独自の用地確保や誘致活動が不可欠だが。A 独自の用地確保は非常に難しい状況だ。

Q 所管において企業が取得している未利用地の把握は。A 把握は出来ていない。用地確保が難しいなら未利用地の実態調査は必要では。

Q 把握は出来ていない。A 用地確保が難しいなら未利用地の実態調査は必要では。

Q 市街化区域の農地に道路を入れ民間開発の喚起を促すとの事であったが。A 思いはある。どの程度予算が出せるか導きたい。

Q 城南の空地約1万6000㎡を売却すれば、時価で約

教室にエアコン設置を

6億円弱が見込める。原資とし活性化の起爆剤に。

Q パンジーや城南団地跡地の活用は貴重な意見だ。検討材料の一つに加える。

Q 町に活気がないと言われる。活力低下の要因は。A 財政悪化で新規事業への投資を抑制してきたのが要因の一つ、新たな投資で賑わいや活性化につなげたい。

Q 7月の集中豪雨で市街化区域に指定されている146ヘクタールの山林部分は、すべて避難指示が出された。今後の地震や風水害をとらえ、見直すべきだが。A 土地の価格の変動もある。実現可能か検証をする。

Q 線路から新津・二

都市計画マスタープラン

Q 都市計画マスタープランの見直しを行うが、都市計画適用の指針として活かし得るビジョンとすべきだが。A 町の課題やアンケート・基礎調査を踏まえ都市計画マスタープランに位置づけたい。

Q 約125万円程度だ。例えば行橋側を企業誘致可能な工業用地、駅側を市街化区域に見直せば税収増や活性化が図れるのでは。A 県と話し合う機会を設けたい。



新津地区の農地 (市街化調整区域)



城南団地の空き地

Q 不交付団体の町としてのメリットは

A 財政運営の自由度は増す



梶原弘子 (日本共産党)

Q 町の財政健全化について。A 昭和50年より、普通交付税の不交付団体で、税の増収は独

自施策等に財源を配分することができ、財政運営の自由度は増す。

Q デメリットとしては。A 不交付団体としては、減収に見合う歳出の抑制や歳入の増加を図る必要がある財政運営が厳しくなる。

Q 人口増を目標としている本町としての政策や若者雇用は進んでいるのか。A 臨空産業団地や空

港関連用地等に企業を誘致してきた、雇用増加、税収の増加となっている。

Q 若者の雇用対策は

A 高校生を企業訪問バスツアーで町内の企業に就職を促すという方法をとっている。

Q 町から市への取り組みは。A 地方自治法で人口5万人を有すると定められているが、町の目標人口は平成32年度は4万人へ、将

来は市制移行の要件である5万人へと設定している。

Q 外国人雇用問題は町の方針と合致しているのか、住宅が足りないともいわれているが、町営住宅を使えないのか。A 公営住宅は低廉な家賃の賃貸住宅を供給するとなっている。また、外国人労働者を含め所得が標準の方も入居できるが、設備水準が満たされていない。

Q 一住んでよかった苅田町にするならば、住みやすい町へと公営住宅を考え直さないのか。A 課題のひとつとして考えている。

Q ゴミ減量化で歳出減をと言いつつ続けているが。A 専用の回収ボックスを設置、生ゴミ、紙おむつはリサイクルの先進事例を参考に町に合った方法がないか検討している。

Q 予防医療の取り組みでどれくらい節約できたのか。A 健康の維持増進、生活習慣病予防を目的に特定保健事業を行っている。一人あたりの医療費は平成28年度は県内49位、予防の観点からは医療費等の削減をはかりたい。

歳出削減

Q 健康の維持増進、生活習慣病予防を目的に特定保健事業を行っている。一人あたりの医療費は平成28年度は県内49位、予防の観点からは医療費等の削減をはかりたい。



古紙回収ボックス

防災問題

Q 避難所では、さまざまな視点から女性や弱者の立場の運営が必要では。A 3月にマニュアルを作成した、男女双方の視点から運営にあたる。



苅田町空港関連用地

Q 安心、安全な街づくり

A 交番移転が決まった



榎谷 忠明 (未 来)

Q 苅田交番はどこに移転するのか。

A 苅田駅の東口、駅前公園の一部に移転。

Q 完成はいつか。

A 順調に行けば年度内に完成し、運用開始の予定。

Q 現在町に1500人以上の外国人が住んでいるが、彼らが安心して住める様にどうしているか。

A 四カ国の対応ができるリーフレットを作る準備をしている。

提言 小倉などへ行く

と、英語、中国語、韓国語での案内板がある。当町でも作ればよいと思う。

災害時の対応

Q 昨年、今年と7月に集中豪雨が発生したが、防災グッズ等はどこに保管しているのか。

A 役場に保管しているが、一部毛布などは公民館に備蓄している。

Q 最近の台風の進路

など、想定外で、いづどんな災害があるか分からない。防災計画の見直しが必要ではないか。

A ここ近年の大災害で、大変な状態になっている。本町の地域防災計画については、今改定を行っているところである。

Q 今年の7月の集中豪雨で避難した人数とその地域は。

A 避難者は83世帯、187名で、北公民館、中央公民館、小

波瀬コミュニティ、総合福祉会館、西部公民館と白川小、片島小を省く4小学校に避難した。

Q 避難した時の食事、水、毛布等はどうなっているか。

A 水と簡単な非常食、そして毛布を各避難所に配布。

Q 自主防災組織は47行政区で何カ所でき

A 高齢者で避難行動が思う様にいかない、避難行動要支援者は登録する制度がある。毎年12月時点で更新

ているか。

A 現在31行政区。今年度にあと2行政区できる予定。

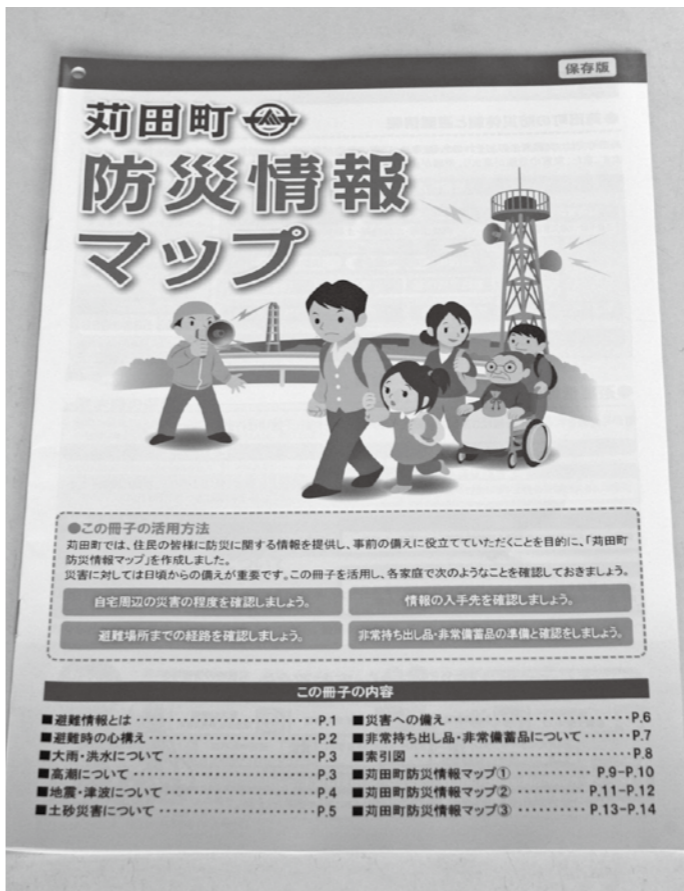
Q 高齢者や障がい者、1人住まいの方への対応はどうしているか。

A 高齢者で避難行動が思う様にいかない、避難行動要支援者は登録する制度がある。毎年12月時点で更新

している。

Q 7月の豪雨のあと、白川地区で土砂崩れや通行止の所があった。防災、ハザードマップの見直しは。

A ハザードマップは平成26年3月に作成したもので、来年度、津波、高潮、内水氾濫の情報を含めたところで改定の予定。



苅田町防災情報マップ

Q 豪雨災害対策の重要性

A 防災対策は大切、取り組んでいく



小山 信美 (公明党)

Q 避難所に苅中の体育館が指定されていない理由は。

A 土砂災害警戒区域のエリアの一部が入っている。

Q 聴覚障がい者に対する避難所の対応は。

A 筆記を前提とした対応。

Q ペットの持ち込みは。

A 今後、対応できるように検討する。

Q 体育館の暑さ対策は。

A スポットクーラー

や扇風機等は完備していない。その都度、調達する。

Q 各学校の避難マニュアルに基づいた訓練は。

A 毎年か隔年に実施。今年9月に2校、10月に2校、1月に4校が実施予定。

Q 避難所運営マニュアルの活用は。

A 今年作成したので、各学校ごとに合ったものにしていく。目標は3年程度。今年度は苅田小学校を予定。

Q 防災マップの刷新は。

A 来年度中に完成させる。

Q 自主防災組織は現在31団体、未設置の要因は。

A 今年2団体増の予定。高齢化でリーダー格になる人材が不足している。

Q 町内の土のうの数

A 土のうステーションに約200個、備蓄は約900個、袋のみ2800枚。

Q 高齢者や女性が対応できる機能的な土のうの検討は。

A 吸水土のうは便利だが単価が高いので検討したい。

Q 町内ため池は44。ハザードマップの作成は。

A 危険性を知らせるには必要なことだ。

Q 地すべり被害のリスクを抱える大規模盛り土造成地の把握と分析は。

A していない。調査し必要があれば周知する。

Q ウェブ版防災マップの導入については。

A 今後、検討していく。

Q 北九州市がLINEを使ってタイムリーな情報提供に取り組んでいる。本町は。

A 防災マップ、ハザードマップの改訂時に研究する。

提言 外国人に有効な国土交通省の防災ポータルは多言語に対応。取り入れるべき。

熱中症対策

Q 水分、塩分補給と

してスポーツドリンクの持参は。

A 全小・中学校が持参を認めている。

Q 簡易で安価なミストシャワーの取り組みは。

A 小・中学校3校に設置。今後、改めて検討する。



馬場小学校避難訓練

Q 本町の障害者の雇用実態は

A 雇用者数は8名、雇用率は2.44%



高橋 達之 (日本共産党)

福祉的就労

Q 就労継続支援A型、B型(※)の工賃は低水準、町はどのような支援ができるか。

A 直接的な支援は難しい。

本町への就労

Q 障害者手帳の確認をしないで雇用率に算入している人はいるのか。

A 本町ではない。手帳の確認方法は。

A 別枠での採用試験時には提示してもらい、採用後に取得した人は本人の希望がない限り確認できない。

Q 今まで精神や知的障害者の採用がないのはなぜ。

A 町には長く働いてもらうための環境が整っていない。先進自治体や各種事例を研究していきたい。

Q 非常勤職員として雇用して一般就労へつなげる、チャレン

ジ雇用制度を活用できないか。

A 短期間でも非正規職員として雇用できないか考えてみる。

Q 誘致企業へ行政側から雇用を要請できないか。

A 法定雇用率以上のことは言いづらい。

Q 指定管理者に意識的に取り組んでもらえないか。

A 可能だとは思いますが、もう少し研究する。

特別支援学級

Q 生活支援員の複数配置や特別支援コーディネーター専任配置の考えは。

A 県の動向を注視して適切に対応する。

通級指導教室

Q 希望すれば町内の小学生であれば誰でも通えるのか。

A 教育支援委員会が総合的に勘案して決定する。

学級編成

Q 小一は35名、小二以上は40名が上限数だが、苅田小一年生は106名で三学級しかないのはなぜか。

A 特別支援学級生が3名在籍しているの

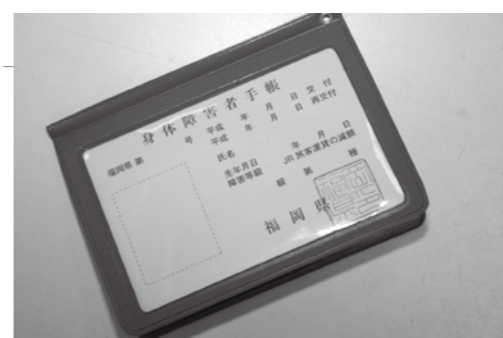
で、通常学級生は103名で三学級。

Q 新津中一年生は121名で四学級あるが、7名の特別支援学級生が在籍している。編成対象数は114名となり三学級でいいのではなか。

A 指導方法を工夫し、改善の加配教員を一名配置して学級編成に活用。

Q 一名転出して120名になってしまったら教育委員会はどう対処するか。

A 新入生は入学式、在校生は始業式の日を基準に学級編成するため、年度途中での変更はない。



障害者手帳

※就労継続支援A型・B型：障がいがあり企業等での就労が困難な人に、働く場を提供し、知識・能力の向上のために必要な訓練を行う事業。

A型は雇用契約あり。B型は雇用契約がなく、A型利用に結びつかなかった人などが対象。

Q 本町の障害者雇用について、不正は

A 法定に基づいて適正に雇用している



松蔭 日出美 (未来)

Q 障がい者対策で本町の雇用率は。

A 今年度の実雇用率は、2.44%となっている。

提言 北九州市は87名、この中の4名が不正とニュースがあったが、本町は入っていないだったのでこれからも鋭意努力を。

Q 障害者用駐車場が使えないが。

パンジープラザの駐車場と多目的トイレ



パンジープラザ障害者用駐車場

A 障害者専用駐車場が1台(ふくおかまごころ駐車場)5台のスペースを用意している。

Q 見直しをしては。

A 県と相談して、ま

ごころ駐車場の台数をふやして障害者の方が出るだけ多く駐車できるようにしたいと思っている。

Q 各公共施設については。

A 必要台数が足りているか再確認をする。

Q 多目的トイレが使えないが。

A トイレの中に、不審者が入り込み、中から鍵をかけたたりすることがあり、ドアに使用禁止の張り紙をして、常時鍵をか



パンジープラザ屋外の多目的トイレ

け、大会があるときや、希望者がいるときのみ解放していた。

Q 大会が行われているとき以外の利便性が悪いが。

A 使用禁止の張り紙を取り除き、日中は開放し日没には鍵をかけるようにした。

合併条件

Q 京都峠の県道苅田採銅所線の早期開通について。

A 用地買収も完了し新規事業として本年度より着手する。

Q 長峡中学校の旧通学路について。

A 町長と現地確認を行う予定。

Q 白川校の改築及び山口分教場の跡地について。

A 改築は完了していると認識している。山口分教場の跡地に、来年度に生涯学習基本計画の見直しを予定している。



長峡中学校の旧通学路 (旧白川郵便局前の道路)

Q JR小波瀬西工大前駅 周辺の今後の開発は

A 実現を目指して
検討を行う



村上智宣 (大樹会)

Q 事業のプランニングの際に民間の有識者等の意見は聞いているのか。

A それをもとに業者に依頼した。

Q 苅田駅を改修した際の費用の内訳は。

A 東口が17億円、西口が5億円、自由通路が10億円、駅裏の道路が5億円の計37億円。

Q 行橋駅舎が約14億円、西小倉駅が7億円であったことを考えると高いと思うが。

A そのように感じる。

Q 基本設計についても9000万円は高いように感じるが。

A どうしたらコストを下げられるかを考えている。

Q 都市計画マスタープランを策定しているが、201号線バイパス沿いの市街化調整区域を解除すれば人口増加のチャンスでは。

A 関連する基礎調査の結果等を踏まえて検討する。

提言 市街化調整区域の事情がよくなれば、多くの状況が好転すると思う。十分に考

慮してマスタープランの策定を行ってほしい。

未収金問題

Q 回収はうまくいっているのか。

A 滞納額は減っている。

Q 他の課との連携はとれているのか。

A 状況を把握し、連携をとっている。

Q 徴収対策課を作り、専門的に行っていくことが正しいと思うが。

A 検討の余地はある。

防災、安全対策

Q キャパシティとして充分でないという答弁があったが。

A 効率的な対策が立てられるように勉強



新津調整区域

する。

Q 来年度改定の防災マップだが、それまでの対応は。

A 随時更新、公表というのは難しい。早く新たなマップを作る。

提言 告知方法についても検討してほしい。

Q 消防団の給料等はいつ設定されたものなのか。

A 約10年前のもの。

提言 今後、給料の改定等も考慮してほしい。

子育て支援

Q 出産奨励金等は考えられないか。

A 3子以降の保育料、幼稚園入園料の軽減等に力を入れていきたい。

Q 7月豪雨の本町の状況は

A 初めて避難指示を発令



白石学 (公明党)

Q 気象状況の把握は。

A 気象庁、福岡県、海上保安庁から情報を、リアルタイムに入手している。また、ホットラインもある。

Q 資料では、道路冠水が19件だが。

A 通報の件数で、過去と比べると多い数字だ。

Q 玉川地区は、大雨のたびに冠水。排水などの改善は。

A 短時間に多くの雨が降り、あふれた。水路やポンプ場を確

認したが、財政的にすぐに出来ない。

Q 避難情報の伝達について、大雨や深夜では伝わりにくい。

A 防災メール・まもるくんとau、docomoのエリアメールがある。

Q 防災無線は聞こえにくい。今7カ所あるが、増やすのか。

A 線路から上は開発が進んでいる。その部分は増設したい。

Q 防災メールやハザードマップについ

て、理解を深めるため、出前講座を開いてはどうか。

A 関心を持って、防災意識を高めることは、非常に大事。出前講座など検討する。

Q 北公民館、西部公民館の前の道路が冠水した。避難所として十分か。

A 回りが冠水すれば、近づけないし出られない。状況を見て開設を考える。

Q 行政からの情報の提供や共有につき、

具体的に整理し、行動計画策定の提案があるが。

A 昨年度、業務継続計画を策定した。初動マニュアルも作り、研修も行う。自主防災組織で訓練や研修を行う。

Q 消防署などと意見や情報を共有し、危

険箇所の洗い出し、見直しの要望があるが。

A 小波瀬コミュニティセンターで、消防団、消防職員、町職員、小波瀬病院担当者と交流した。要望があれば随時対応する。

提言 住民まで届いていない。周知していくことが大事だ。



幸町地区の道路冠水



議会だより かなだ
平成30年10月25日発行
(138号)

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

かなだスコープ!

vol.12 出口晴翔君 (東福岡高校2年) に聞く

「目指せ!東京オリンピック」

今回は、本町出身で現在東福岡高校陸上部2年生の、出口晴翔君をスクープしました。彼の最近の成績は、

7月:第3回ユースオリンピック競技大会アジア地区予選
400mハードル
1位 52秒53

8月:全国高校総体(インターハイ)陸上400mハードル
1位 51秒17(自己新)
という素晴らしい成績です。

彼は小1の時、荻田与原RC(陸上クラブ)に入部し、小5でハードルを始め、小6



の頃から身長も伸びはじめました。しかし、全国大会は逃したもののその後の大会では好成績を残し、中2では全国大会2位になりました。

ハードルを始めたきっかけは、見ていて格好良かったからで、歩幅の調節など難しいところもあるけど、練習を重ねタイムが縮まっていくのが楽しいとのこと。

高校は寮生活で、月1回ほど実家に帰省し、その時も普段の生活リズムを崩さないように気をつけているそうです。ちなみに、お母さんが作ってくれるクラムチャウダーを楽しみにしています。

与原RCの堀監督にもお話を伺いました。晴翔君は負けず嫌いなところもあり、嫌いな長距離走でもかなり優秀な成績をおさめました。また、人の輪の中に自然に溶け込める性格だそうです。2022年の世界選手権には出場する



だろうと言っていました。

将来は体育教師になり、子供たちを指導したいと言っていた晴翔君は、とても礼儀正しく、誠実な好青年でした。今後の活躍を大いに期待しています。

表紙の写真



片島小学校
運動会

あ と が き

皆様、今年の夏はどう過ごされましたか。記録的な猛暑で、エアコンなしでは過ごせない日々が続いたと思います。

黄金色に実った稲穂も刈取られ、新米が食欲を注ぐ秋、畦には彼岸花が美しく咲いて、月末になると紅葉狩りなどに出かけられることも多くなることでしょう。

わが町も遠田町長に代わって1年、バイオマス発電所などの立地協定も執り行われ、町が大きく変わろうとしています。今後の発展が楽しみです。

梶谷忠明

議会広報特別委員会
委員長 小山信美
副委員長 友田敬而
委員 梶原弘子
井上 忠明
白谷 学
岩谷 正隆
屏正

〒800-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099